

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	一人でもできたり、それが習慣とすることもできるのに、その場面が少ないために、時間をもてあましてしまっている様子がある。	まだできること、楽しんでできることのできる環境を作って、充実した1日を送ってもらう。	・「頭を使わなあかん」と言われている方には脳トレの材料などを用意してある程度、決まった時間にしてもらったり、それぞれの役割が発揮できることを積極的にとりいれ、できる環境を作っていく。	12ヶ月
2	49	車椅子を使用している入居者の外出、外食の頻度が少ない。	行事や外食、外出に限らず、普段から短時間でも外気に触れて気分転換していく。	・体調、天候を見て状態がよい時は1日1回外気にふれる。 ・車いすでも行ける場所や楽しめる場所の情報を集め、計画を立てて外出や外食の回数を増やしていく。	12ヶ月
3	26	入居者の体調、気持ちの不安定などがみられる中で職員は、安定した体調で穏やかに過ごしてもらえるように情報を共有し、早めの対応をする。	職員は確実に入居者の情報が申し送られ、共有できている。	・口頭での申し送りと共に記録にして、注意すること・観察することを周知していく。 ・情報交換を密にとり、ミニカンファなどでも確認しながら、体調や気持ちの変化に早く対応していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。